ワンダーフル

令和７年３月 13 日
倉敷市立郷内中学校 第3学年
学年だより 第 12 号

祝卒業

一抹の不安と期待に胸を膨らませながら入学してから3年間、思春期の真っ只中で理由もなくいらいらしたり、自分だけが取り残されていくような気持ちになり焦ったり、様々な葛藤の中で中学校生活を過ごしたことと思います。

そんな中で、相手を理解するためには、謙虚な気持ちで相手の話を受け止める心の余裕が必要であることを学び、自分を成長させるためには、時には苦手なことにも挑戦していく勇気が必要だということに気づき、まわりの人のことも考えながら行動することによって絆を深めてきました。また、行事を通して、集団の力の大きさを実感し、互いに支え合うことの大切さを学びました。

これまで、行事のたびに、たくさんの人たちが実行委員として積極的に活動し、それぞれの行事を成功へと導いてきました。放課後遅くまで話し合ったり、意見が合わず苦労したり気を遣ったりしたこともあったでしょう。それでもみんなのために、最後まで力を尽くしてくれたことに心から感謝しています。

明日は卒業式。蟻峰山のさわやかな風が通る慣れ親しんだ校舎ともお別れです。明日、自分ができることを精一杯し、有終の美を飾りましょう。

保護者の皆様へ　～たいへんお世話になりました～

お子様のご卒業、おめでとうございます。心も体も立派に成長され、自分で選んだ道を歩き始める時がきました。保護者の皆様におかれましては、義務教育最後の3年間は、長いようで短く、短いようで長く感じておられることでしょう。思春期という多感な時期を過ごした子どもたちには、毎日が葛藤とドラマの連続でした。休憩時間に友だちとの会話を楽しんだり、放課後の部活動に励んだり、家庭で好きなことに没頭したりすることでストレスを和らげ、学年を経るにつれて自分という人間と向き合う時間が長くなり、自分を知ることで漠然としていた卒業後の進路も明確になっていったと感じています。学年団として3年間、学級担任と子どもたちの人間関係作りを第一に、子どもたちとかかわってきましたが、保護者の皆様には、ご心配をおかけしたことも、腹立たしい思いをさせたこともあったと思います。それにもかかわらず、深いご理解とご協力をいただき、心から感謝しております。たいへんお世話になりました。本当にありがとうございました。

3年生の皆さんへ　～ハートフル・パワーフルでワンダーフルに人生を楽しんで！～

慣れ親しんだ教室や友だちとの楽しい思い出が脳裏を駆け巡り、寂しい気持ちと新たな生活への晴れやかな気持ちが入り混じり、複雑な心境でしょう。3年間、授業や部活動だけでなく、学年を越えて郷内中学校全員の先生方が、皆さんの学校生活を見守ってくださいました。明日の卒業式は、卒業生である3年生が主役であることはもちろんですが、先生たちにとっても、奇跡のような確率で出会い、感動を与えてくれた皆さんと過ごした3年間は、かけがえのない思い出が詰まっています。また、学校だけでなく、温かい地域の方々に育てられた私たちの宝である皆さんが、新しい出会いを受け入れ、新しいことに挑戦し、ハートフル・パワーフルでワンダーフルな人生を楽しんでいくことを心から願っています。様々な場面で、楽しませてくれて本当にありがとう！

３年間をふりかえって

１年生最初は授業と休み時間の切り替えや提出物、チャイム着席などで注意されることが多かったけど、3年生では自分たちで気づいて行動できるようになり、みんな成長したなと思いました。行事なども前に出て頑張っている人をみんなで支えようという意識があってうれしかった。

小学校からあまり変わらないメンバーでそのまま中学校に入って3年間過ごしてきて、色々ありすぎてすごかった。中1から中3の全部楽しかった。困った時には勉強を教えてくれて優しい人ばかりだった。部活は最後悔しい結果になったから、高校では絶対いい結果を出す。迷惑もいっぱいかけたけど、郷内のみんなは優しく楽しく接してくれた。最高!この3年間だけでたくさん思い出も増えたし、大事な記憶としてずっと残ると思う。全部の行事が楽しかったしめちゃくちゃ頑張った。中学で頑張ったみたいに高校でも郷内魂でいくぜ!

3年間を振り返り、テスト勉強や部活など様々なことが中学校であったことを思い出した。いろいろなことが初めてやることで、正直勇気がでないこともたくさんあったが、ここまで乗り切れたので、もう全部いい思い出になったと思う。これから高校に入るが、今と変わらないのんびりとしたペースで毎日を過ごそうと思う。3年間ありがとうございました。

部活動で、最初はうまく高い音が出なかったり、リズム通りに吹けなかったけど、先輩に聞いたり自分で調べて練習したりしていくうちに、ほめられることが増えて、後輩や先生に頼られることがうれしかったです。合奏したときにハモったり、リズムがうまく吹けたりしたのがうれしかったです。何度もやめたいと思うことが多かったけれど、こつこつと練習してやりきることができてよかったです。高校でもがんばりたいです。

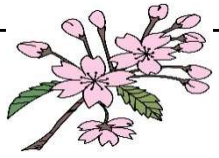
この3年間とても充実した3年間でした。人生で初めて飛行機に乗ったり部活をしたり、小学校ではできないこともたくさん経験できました。特に印象に残っているのは修学旅行です。小学校ではコロナでちゃんとした修学旅行に行けなかったので、実質初めての修学旅行でした。沖縄では、岡山では見られない景色や体験ができたし、私がずっと見たかった島ひとつないまっすぐな水平線も沖縄で見られました。とても楽しかったです。中学校でやった体育会や文化祭、校外学習などの行事はもちろん、普段の中学校生活も自分にとって大切な思い出です。

学校も部活も楽しかった。ちゃんと勉強してればよかった。

この3年間は、勉強面に対してとても前向きで、小学校の時には考えられないくらい自分に自信がついたなと思いました。驚くくらい成績の伸び幅が大きくて、「頭の良さは、もともとで決まる。」と思っていたけど、努力の大切さを学んだ。思い出も多く、遊ぶことが増えて、一緒に9年間いた学年でもあるので、その長さの分、思い出も増えた。

だんだん自分の殻が破れた気がする。失敗もあまり恐れないようになった。

人間関係で困ったことも多くあったけど、話し合って仲直りできたこともあった。

この3年間で、宿題がきちんとできるようになり、数学が得意教科になった。

1年生では初の中学校生活で慣れないこともあったけど、メンバーは変わらなかったのですぐになじんだ。楽しいことも悲しいこともあったけど、充実した生活ができた。部活動では、初めて出場した地区総体で県大会に行けてとてもうれしかった。2年生では後輩ができ、引っ張っていく立場として苦戦したが、仲良く乗り切れた。嫌なこともたくさんあった1年だったが、まあまあ楽しめた。3年生では受験生としての自覚がなかなかもてず、遊んでばかりだったが、宿題を出したり教えたりしながら勉強に取り組めたと思う。最後の県総体では県8位になって表彰された、みんなに自慢できるくらいの結果を出せて、3年間の集大成になったと思った。